

トビウオ通信 (R7 第2号)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-23-4806)

《令和6年(2024年)の島根県漁業の動向》

島根県の漁獲統計システムにより集計した県内の漁業協同組合の漁獲統計資料(属人)などから、令和6年1月～12月における島根県漁業の動向を取りまとめました(集計対象は海面の漁船漁業のみ)。

全体 … 総漁獲量は前年の98%・総生産額は前年の95%

令和6年の島根県(属人)の総漁獲量は10万1千トンで前年の98%(平年比110%)、総生産額は187億円で前年の95%(平年比109%)でした(表1、図2、3)。

漁業種類別の構成比は、漁獲量ではまき網が全体の83%、定置網が6%、小型機船底びき網(かけまわし)が2%、沖合底びき網(2そうびき)が2%、べにずわいがにかごが3%となりました(図2)。生産額ではまき網が全体の48%、定置網が12%、小型機船底びき網(かけまわし)が7%、沖合底びき網(2そうびき)が9%、べにずわいがにかごが7%となりました(図3)。

魚種別漁獲量の上位5種はマイワシ(3万7千トン、平年比145%)、サバ類(2万8千トン、平年比197%)、マアジ(1万2千トン、平年比91%)、ウルメイワシ(5千トン、平年比48%)、ブリ(5千トン、平年比59%)となりました(図1)。

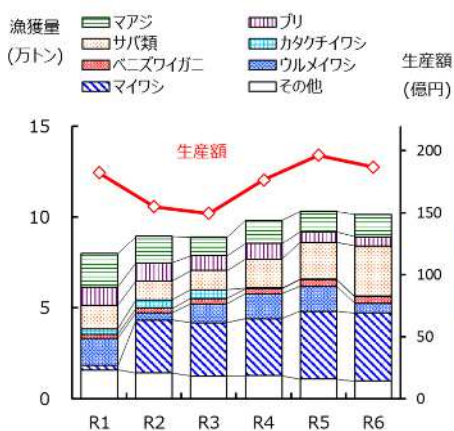


図1 総漁獲量・総生産額の推移

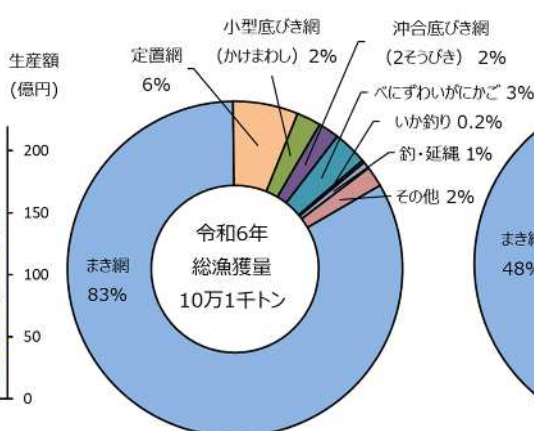


図2 漁業種類別漁獲量の割合

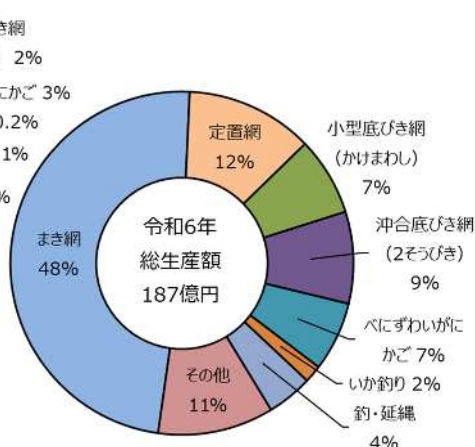


図3 漁業種類別生産額の割合

＜文中の語句説明＞

- 👉 令和6年の漁獲量・生産額及び平年比は島根県内の全地区、全経営体を対象に集計しています。
- 👉 「前年」は令和5年の数値、「平年」は過去5年(令和元年～令和5年)、沖合底びき網(2そうびき)のみ過去10年(平成26年～令和5年)の平均値を指します。
- 👉 平年との比較は、平年比が120%より高い場合は「平年を上回る」、平年比80～120%は「平年並み」、平年比が80%より低い場合は「平年を下回る」としています。

まき網 ……中型まき網 1 船団あたりの漁獲量は前年の 98%・生産額は前年の 94%

本県の基幹漁業の一つである「まき網」には、中型まき網や大中型まき網などがあります。これらは主にマアジ、サバ類、イワシ類などの浮魚（うきうお）を漁獲対象としています。

令和6年のまき網全体の漁獲量は8万4千トンで前年の98%（平年比114%）、生産額は91億円で前年の96%（平年比120%）でした。

まき網のうち、大半を占める中型まき網の漁獲量は7万8千トンで、前年の99%（平年比116%）でした（図4）。生産額は79億円で前年の95%（平年比122%）でした。中型まき網1船団あたりの漁獲量は8千トンで前年の98%（平年比120%）、生産額は8億1千万円で前年の94%（平年比126%）と、ともに平年を上回りました。

中型まき網の魚種別漁獲量の上位5種はマイワシ（平年比144%）、サバ類（平年比210%）、マアジ（平年比95%）、ウルメイワシ（平年比48%）、ブリ（平年比50%）となりました（図4）。

中型まき網の海区別の漁獲量は、石見地区が1千9百トン（平年比63%）、隠岐地区が7万6千トン（平年比118%）でした。

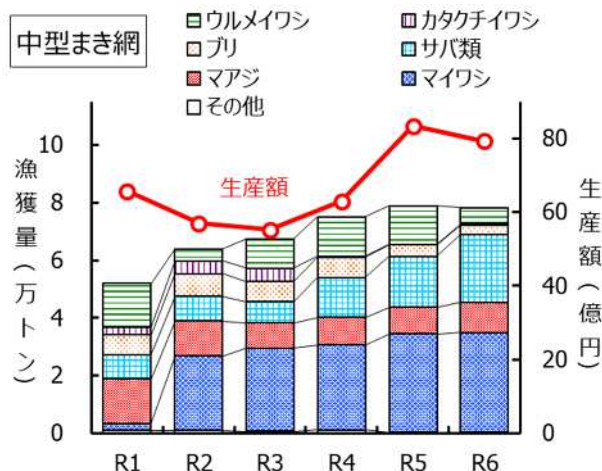


図4 中型まき網による魚種別漁獲量及び生産額の推移

沖合底びき網(2 そうびき) ……1 船団あたりの漁獲量は前年の 104%・生産額は前年の 108%

沖合底びき網（2 そうびき）は2隻の漁船で網を曳き、カレイ類、アンコウ類、アカムツ（地方名ノドグロ）など海底付近に生息する魚介類を漁獲対象としています。

令和6年の漁獲量は2千トンで、前年の104%（平年比58%）、生産額は16億2千万円で前年の108%（平年比88%）でした。1船団あたりの漁獲量は511トンと、前年の104%（平年比85%）で平年並み、生産額は4億1千万円と前年の108%（平年比126%）で平年を上回りました。

石見地区における魚種別漁獲量の上位5種はキダイ（平年比85%）、アナゴ・ハモ類（平年比96%）、マダイ（平年比164%）、アカムツ（平年比61%）、ソウハチ（平年比68%）となりました（図5）。

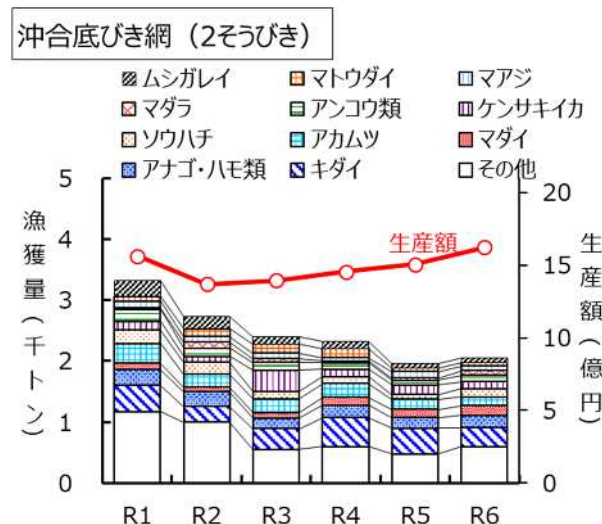


図5 石見地区の沖合底びき網（2 そうびき）による魚種別漁獲量及び生産額の推移

小型機船底びき網(かけまわし)・・・1隻あたりの漁獲量は前年の86%・生産額は前年の91%

小型機船底びき網(かけまわし)は、1隻の漁船で操業し、カレイ類、ニギス、タイ類など海底付近に生息する魚介類を漁獲対象としています。

令和6年の漁獲量は2千4百トンで、前年の79%(平年比72%)、生産額は13億8千万円で、前年の85%(平年比87%)でした(図6)。1隻あたりの漁獲量は68トンで前年の85%(平年比79%)と平年を下回り、生産額は4千万円で前年の90%(平年比96%)と平年並みでした。

魚種別漁獲量の上位5種はソウハチ(平年比56%)、ニギス(平年比129%)、アンコウ類(平年比67%)、ヤリイカ(平年比179%)、アナゴ・ハモ類(平年比60%)となりました(図6)。

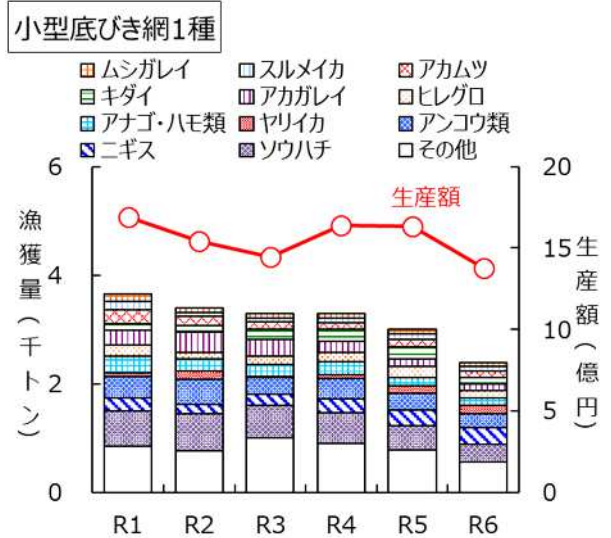


図6 小型機船底びき網(かけまわし)による魚種別漁獲量及び生産額の推移

定置網・・・漁獲量は前年の117%・生産額は前年の105%

定置網(大型定置網・小型定置網・底建網)は魚の通り道に網を設置し、来遊してくる魚を漁獲する漁法で、マアジ、ブリ、サバ類、イカ類などを漁獲対象としています。

令和6年の漁獲量は6千4百トンで、前年の117%(平年比119%)、生産額は22億5千万円で、前年の105%(平年比117%)でした(図7)。

海区別の漁獲量は、出雲地区は4千6百トン(平年比119%)、石見地区は825トン(平年比117%)でともに平年並み、隠岐地区は979トン(平年比124%)で平年を上回りました。

魚種別漁獲量の上位3種は、出雲地区ではサバ類(平年比348%)、ブリ(平年比116%)、マイワシ(平年比219%)となりました。石見地区ではサバ類(平年比215%)、マアジ(平年比98%)、マイワシ(平年比2031%)となりました。隠岐地区ではブリ(平年比111%)、サバ類(平年比583%)、マアジ(平年比81%)となりました。

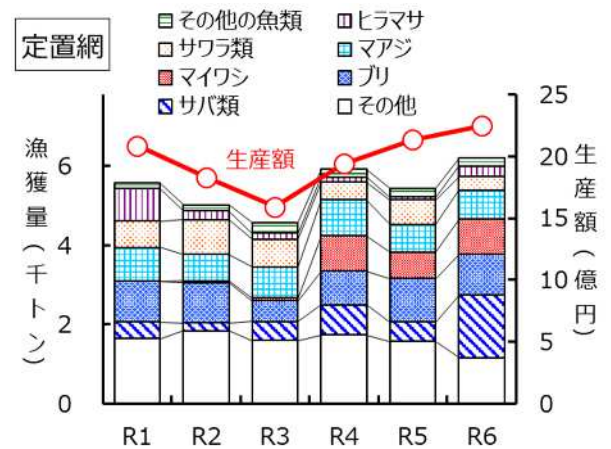


図7 定置網による魚種別漁獲量及び生産額の推移

釣り・延縄 …… 漁獲量は前年の94%・生産額は前年の99%

釣り・延縄は、釣り竿を用いた一本釣、縄から枝状に複数の釣り針を仕掛ける延縄など、釣り針に食いついた魚を釣り揚げる漁法です。

釣り・延縄の令和6年の漁獲量は684トンで、前年の94%（平年比89%）、生産額は8億1千万円で前年の99%（平年比113%）でした（図8）。

出雲地区の漁獲量は269トン（平年比85%）、石見地区は217トン（平年比87%）、隠岐地区は197トン（平年比98%）でいずれも平年並みでした。

魚種別漁獲量の上位3種は、出雲地区ではブリ（平年比65%）、サワラ類（平年比57%）、クロマグロ（平年比221%）、石見地区ではブリ（平年比90%）、アマダイ（平年比114%）、ヒラマサ（平年比60%）、隠岐地区ではブリ（平年比85%）、カサゴ・メバル類（平年比95%）、クロマグロ（平年比126%）となりました。

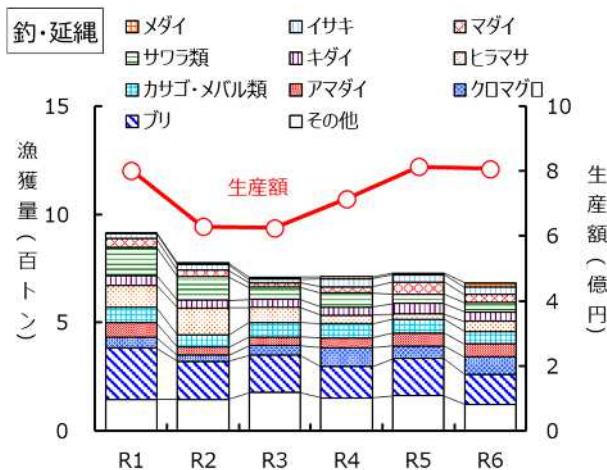


図8 釣り・延縄による魚種別漁獲量及び生産額の推移

いか釣り …… 漁獲量は前年の83%・生産額は前年の86%

いか釣りは名前の示すとおりスルメイカやケンサキイカなどのイカ類が漁獲対象で、本県では夜に集魚灯（漁火）によりイカを集める夜釣りが主流です。

令和6年の漁獲量は245トンで、前年の83%（平年比61%）と平年を下回り、生産額は3億1千万円で前年の86%（平年比81%）で平年並みでした（図9）。

魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年比73%、スルメイカは平年比52%、ヤリイカは平年比20%でした。

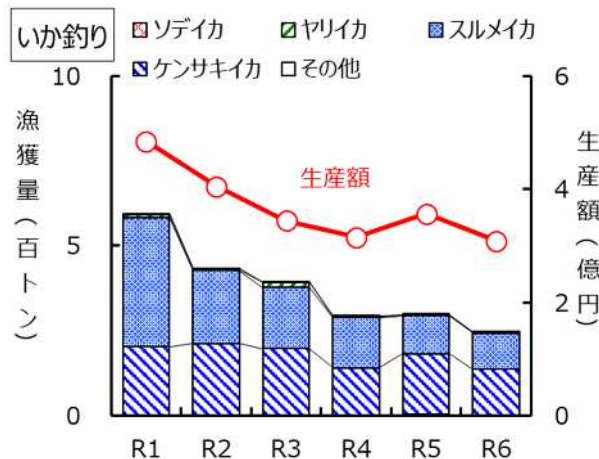


図9 いか釣りによる魚種別漁獲量及び生産額の推移

※ 各漁業の概要や「トビウオ通信」のバックナンバーについては島根県水産技術センターのホームページをご覧ください。
 (<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

表1 令和6年(1月～12月)の県内主要漁業の海区別漁獲量・生産額

漁業種類	海区	漁獲量※			生産額※			1ヶ統あたり漁獲量※			1ヶ統あたり生産額※		
		量(トン)	平年比	前年比	金額(百万円)	平年比	前年比	量(トン)	平年比	漁模様	金額(百万円)	平年比	漁模様
すべての漁船漁業	全県	101,457	110%	98%	18,700	109%	95%	—	—	—	—	—	—
中型まき網	石見	1,918	63%	66%	391	62%	73%	1,053	76%	▲	211	78%	▲
	隠岐	76,235	118%	100%	7,528	129%	96%	9,626	120%	○	947	129%	◎
沖合底びき網 (2そう曳き)	石見	2,043	58%	104%	1,623	88%	108%	511	85%	○	406	126%	◎
小型機船底びき網 (かけまわし)	石見	2,182	70%	80%	1,226	84%	84%	69	79%	▲	39	94%	○
定置網 ※※	出雲	4,583	119%	107%	1,662	117%	102%	329	120%	○	118	117%	○
	石見	825	117%	144%	228	107%	104%	189	119%	○	51	109%	○
	隠岐	979	124%	156%	358	127%	125%	226	133%	◎	83	131%	◎
釣り・延縄	出雲	269	85%	90%	310	116%	96%	—	—	—	—	—	—
	石見	217	87%	98%	261	115%	100%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	197	98%	95%	236	106%	102%	—	—	—	—	—	—
いか釣り	出雲	80	67%	83%	128	89%	92%	—	—	—	—	—	—
	石見	76	84%	88%	111	96%	94%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	89	46%	78%	70	57%	70%	—	—	—	—	—	—

※ 全体の漁獲量・生産額・平年比は県内の全漁業協同組合・全経営体が対象。

平年比: 過去5年(令和元年～令和5年)の平均値との比較、沖合底びき網(2そうびき)のみ過去10年(平成26年～令和5年)

漁模様: ◎平年を上回る(120%より大きい)、○平年並み(80%以上120%以下)、▲平年を下回る(80%より小さい)

※※定置網の1経営体あたり漁獲量・生産額は集計対象期間(令和元年～令和6年)に操業実績のある大型定置網のみを対象に算出。